

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【公表番号】特表2014-523891(P2014-523891A)

【公表日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-050

【出願番号】特願2014-517777(P2014-517777)

【国際特許分類】

A 01 N	43/56	(2006.01)
A 01 P	13/00	(2006.01)
A 01 N	25/00	(2006.01)
A 01 N	25/30	(2006.01)
A 01 N	25/04	(2006.01)
B 01 F	17/42	(2006.01)

【F I】

A 01 N	43/56	C
A 01 P	13/00	
A 01 N	25/00	1 0 1
A 01 N	25/30	
A 01 N	25/04	1 0 1
B 01 F	17/42	

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月3日(2015.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- (a) 除草剤；
- (b) 脂肪酸アミド；
- (c) 脂肪酸；および任意に
- (d) 乳化剤および/または
- (e) ポリオール

を含んでなる殺生物剤組成物。

【請求項2】

前記除草剤(化合物a)が固体であることを特徴とする、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記除草剤は20 の温度で5g/l未満の水中溶解度および1000ppm以下の水硬度を示すことを特徴とする、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】

前記除草剤はピラフルフェンエチルであることを特徴とする、請求項1～3のいずれかに記載の組成物。

【請求項5】

前記脂肪酸アミド(化合物b)は一般式(I)

$$R^1 CON R^2 R^3 \quad (I)$$

[式中、 $R^1 CO$ は、直鎖状または分枝状、飽和または不飽和の、2～22個の炭素原子と0

あるいは1~3個の二重結合を有する任意にヒドロキシル置換されたアシル基を表し、R²およびR³は独立して水素あるいは1~12個の炭素原子を有するアルキル基を表わす。]に従うことを特徴とする、請求項1~4のいずれかに記載の組成物。

【請求項6】

前記脂肪酸アミドは6~10個の炭素原子を有する脂肪酸あるいは乳酸に由来することを特徴とする、請求項1~5のいずれかに記載の組成物。

【請求項7】

前記脂肪酸アミドは脂肪酸ジアルキルアミドを表すことを特徴とする、請求項1~6のいずれかに記載の組成物。

【請求項8】

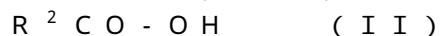
前記脂肪酸アミドは脂肪酸ジメチルアミドを表すことを特徴とする、請求項1~7のいずれかに記載の組成物。

【請求項9】

前記脂肪酸アミドはC₆~C₁₀脂肪酸ジメチルアミドを表すことを特徴とする、請求項1~8のいずれかに記載の組成物。

【請求項10】

前記脂肪酸(化合物c)は一般式(II)



[式中、R²COは、直鎖状または分枝状、飽和または不飽和の、6~22個の炭素原子とあるいは1~3個の二重結合を有する任意にヒドロキシル置換されたアシル基を表す。]に従うことを特徴とする、請求項1~9のいずれかに記載の組成物。

【請求項11】

前記脂肪酸は0個または1~3個の二重結合を有するC₁₆~C₁₈脂肪酸であることを特徴とする、請求項1~10のいずれかに記載の組成物。

【請求項12】

前記脂肪酸はタル油脂肪酸であることを特徴とする、請求項1~11のいずれかに記載の組成物。

【請求項13】

前記乳化剤(化合物d)は非イオン性乳化剤を表すことを特徴とする、請求項1~12のいずれかに記載の組成物。

【請求項14】

前記乳化剤は高分子非イオン性乳化剤を表すことを特徴とする、請求項1~13のいずれかに記載の組成物。

【請求項15】

前記乳化剤はアルキルフェノールのアルコキシル化生成物を表すことを特徴とする、請求項1~14のいずれかに記載の組成物。

【請求項16】

前記乳化剤はノニルフェノールEO/POブロックコポリマーを表すことを特徴とする、請求項1~15のいずれかに記載の組成物。

【請求項17】

前記ポリオール(化合物e)はグリセロール;アルキレングリコール;自己縮合度が1.5~10の工業用オリゴグリセロール混合物;メチロール化合物;低級アルキルグルコシド;5~12個の炭素原子を含む糖アルコール、5~12個の炭素原子を含む糖;およびアミノ糖からなる群から選択されることを特徴とする、請求項1~16のいずれかに記載の組成物。

【請求項18】

- (a) 固体除草剤;
- (b) C₆~C₁₀脂肪酸あるいは乳酸に由来する脂肪酸アミド;
- (c) C₁₆~C₁₈脂肪酸;および任意に
- (d) 非イオン性乳化剤および/または
- (e) ポリオール

を含むことを特徴とする、請求項1～17のいずれかに記載の組成物。

【請求項19】

- (a) 約0.1～約5重量%の除草剤；
- (b) 約50～約90%の脂肪酸アミド；
- (c) 約5～約15重量%の脂肪酸；および任意に
- (d) 約0.5～約5重量%の乳化剤および／または
- (e) 約0.1～約1重量%のポリオール
(但し、上記量は合計100%となる)

を含むことを特徴とする、請求項1～18のいずれかに記載の組成物。

【請求項20】

- (a) 約0.1～約5重量%のピラフルフェンエチル；
- (b) 約50～約90%のC₆～C₁₀脂肪酸ジメチルアミド；
- (c) 約5～約15重量%のタル油脂肪酸；および任意に
- (d) 約0.5～約5重量%のノニルフェノールEO/POブロックコポリマーおよび／または
- (e) 約0.1～約1重量%のプロピレングリコール
(但し、上記量は合計100%となる)

を含むことを特徴とする、請求項1～19のいずれかに記載の組成物。

【請求項21】

請求項1～20のいずれかに記載の組成物の雑草防除剤としての使用。

【請求項22】

請求項1～20のいずれかに記載の組成物の作物保護剤としての使用。

【請求項23】

作物畑において雑草生長を抑制し撃退する方法であって、請求項1～20のいずれかに記載の組成物を水で希釀してスプレー可能なエマルジョンまたは分散体を提供し、およびエマルジョンまたは分散体を作物に適用することを特徴とする方法。

【請求項24】

エマルジョンあるいは分散体を50～95重量%の含水量を有するタンク混合の形態で適用することを特徴とする、請求項23に記載の方法。